

ふれあいの輪、さらに広がります

ほのか

HONOKA

1

2025

No.664

JAあまるめ

賀正



<http://www.ja-amarume.or.jp>

JAあまるめ JAあまるめ 検索

巻末写真館



山形県花き生産連絡協議会



東京フラワーポート社長賞



山形県ストック品評会in仙台

R6.10.25やまがたフラワーフェスティバル2024花き品評会
金賞 東京フラワーポート社長賞 トルコギキョウ(フィノライトピンク)(右)
銀賞 山形県花き生産連絡協議会長賞 トルコギキョウ(エグゼアンティークピンク)(左)
工藤 豊章さん(長畑)

R6.11.18山形県ストック品評会in仙台
ストック(ホワイトアイアン)
銀賞 小松三千雄さん(猿田)



R6.11.25 森屋翁顕彰祭
晴天に恵まれ、顕彰碑の前で祈祷

JAあまるめ 広報ほのか

- 編集と発行/余目町農業協同組合
- 編集責任者/渡会 武司
- 印刷/JA印刷山形
- 令和7年1月

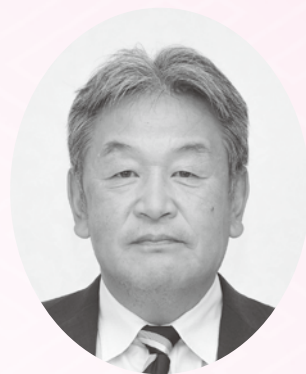
JAあまるめホームページ
<http://www.ja-amarume.or.jp>

JAあまるめ



農業やJAあまるめのイベント情報などを発信しています。ぜひご登録・ご覧ください。

謹んで新年のお慶びを申し上げます



代表理事組合長

佐藤 一彦

新年明けましておめでとうございます。組合員並びに関係者の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

今年も千支暦で云うところの「乙巳」(きのと・み)にあたります。再生や変化を繰返しながら柔軟に発展する年で過去には昭和から平成に変わった年など大きな節目を迎えた年があります。時代の変化を恐れず足元の状況を確認しながら柔軟な対応を心がけてまいり所存です。

さて、昨年を振り返れば毎年の様に繰り返される気象災害があり、7月の大雨は管内の水稲・大豆・園芸作物に甚大な影響をもたらしました。冠水した稲は収穫量が1/2割低下、大豆圃場は収穫すらできない圃場もあり、ネギ・枝豆等でも収穫量減の大きな被害になりました。被害が最小限に留まる様に現地での指導と情報発信には努めました。十分な対応が行えたかは検証しなくてはなりません。

また、異常な事態としては連日報道された「令和の米騒動」があります。生産調整をしている米が販売店の棚から消え、米が買えなくなる状況になりました。原因は様々考えられますが根本は国が管理するべき糧の見誤りだと考えます。食料安保が問われる時代に現行体制の不備が見出した結果と言わざるを得ません。それらに呼応し米の価格が上がりました。米の概算金が過去に例をみないほど上昇した事は生産コストが高止まりする米生産農家には朗報でした。しかし、単に物が不足したから価格が高騰する市場原理での価格形成では物が余れば価格は下がります。今後は農家実態に即した価格の適正化を早急に進めなくてはなりません。令和6年5月に「食料・農業・農村基本法」が改正されました。令和7年には基本計画の策定・法案の提出となり、いよいよ次世代の農業ビジョンが示されます。先に述べた適正な価格形成を實行できる法案の整備と農業者の減少を見据え長らく農業の生産性の向上を大規模農業で補えると考えてきた日本の農業を、それらに加え多様化する担い手・中小規模・家族経営体など多くの基盤により農業を支えなくてはなりません。現状認識を深め目指すべき農業の姿を明確に示すことができる法改正を訴えてまいります。

そのような中、第30回JA山形県大会が昨年11月に開催され向こう3か年の取組実践方針が決議されました。「災害に強く再生産可能な農業の実現」「農業・組織・経営を支える人づくり」を最優先に位置づけ、具体的な施策を策定の上で事業を進めてまいります。

また、昨年全職員参加で実施した組合員への訪問活動は、今年も継続し、組合員との対話に努め、顔が見える繋がりをお大切にされる農協でありたいと思います。今後とも組合員の付託に忘れず農業、地域に無くてはならない存在と役割を役員一丸となり目指してまいります。

本年も幸多き一年となりますようご祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。



副組合長
阿部 勝吉



理事
五十嵐 晃



理事
渡會 正



理事
中野 智



理事
小野寺 姫



理事
遠田 雅弘



理事信用共済部長
阿部 浩



理事企画管理部長
渡會 武司



代表監事
柿崎 寿一



監事
奥山 賢一



監事
高橋 恵

新春号
表紙の紹介



特集

2025 新春メッセージ

新年の抱負



六年生になって頑張りたいことは二つあります。
一つ目は、勉強です。国語の読み取りが苦手なので、読書や、毎日自学に取り組んで、文章問題の苦手意識をなくしたいです。
二つ目は、野球です。六年生になったらキャプテンになるので、皆のお手本になれるように頑張りたいです。僕は、身長も低く体重も軽いので、それを補うために、日々の素振りや練習を積み重ねて、ヒットを打てる技術を身につけたいです。そして、チーム一の出塁率を目指したいです。春から始まる大会では、県大会に出場できるようにチームワークを大切に頑張りたいです。また、野球ができる環境に感謝し、小学生最後の一年を楽しみながら活動していきたいです。



私の今年の目標は、スポ少のバスケットボールで全国大会に出場することです。
私は幼稚園年長の頃、姉に憧れてバスケットを始めました。ポジションはガードで、ボールを素早く運んだり、チームメイトへのアシストを意識しています。今後はシュート力もつけて点数を取り活躍したいです。また、チームメイトと協力し、仲間同士声を出し合い、「余目」のチームを盛り上げていきたいです。
姉の代で連れて行ってもらった全国大会へ、私も。そして妹の代へつなげるよう、目標に向けて日々努力していきたいです。



6年生になったら、苦手なことを積極的にがんばりたいです。
まずは国語です。中でも漢字が苦手なので、自学の宿題の時に積極的に取り組んで克服したいです。
つぎは社会です。6年生になると歴史が始まり、さらに難しくなるので、意識して取り組みたいです。
最後は体育です。特にマット運動や走ることに力を入れたいです。より難しい技に自分から取り組みたいこと、持久走タイムの短縮に向かって頑張ります。
6年生は学校のリーダーです。他学年のお手本になるよう、意識して取り組みたいと思います。



私が今年がんばりたいことは、二つあります。
一つ目は水泳です。小学生二年生から習っている水泳を頑張りたいです。平泳ぎ50メートルを55秒以内に泳ぎ、上の級に上がりたいです。
二つ目は健康です。かぜをひかないように気をつけて、小学校最後の学校生活を楽しく送りたいです。
最上級生として、下級生のお手本となれるように、がんばりたいです。



僕が6年生になったらがんばりたいことは、二つあります。
一つ目は、サッカーです。副キャプテンとしてがんばっています。今年スタートメンバーに入れるよう、ふだんの練習からしっかりとがんばりたいです。
二つ目は、苦手な教科の勉強をがんばることです。算数、理科、家庭科は得意ですが、そのほかの教科は苦手なものが多いので、得意教科になるよう、漢字練習を中心にがんばります。
勉強やサッカーを今までよりもがんばって、いい一年にしたいと思います。



今年、頑張りたいことが三つあります。
一つ目は、健康に気を付けることです。僕は五年間一度も学校を休んでいません。六年間で一度も休まず学校へ通い続けられるよう、今年も体調管理をしていきたいです。
二つ目は、スポ少の余目陸上で自己ベストを出すことです。スポ少以外での自主練習の回数をもっと増やして、足が速くなるように頑張りたいです。
三つ目は、下級生の見本となることです。今年のクラスはケンカが多く、僕も友達も悲しい思いをすることがあったので、悪いところを一つ一つ直せるように気を付け、下級生の良い見本になりたいです。

女性部と組合長の意見交換会

～令和6年の振り返りと今後に向けて～

令和6年度 新春座談会



令和6年度産米の庄内の作況指数が94。管内の推定平均収量ではさらに少なく残念な結果となった一方、販売単価が上がりました。米の消費量がコロナ等の情勢で低下する中、資材高騰等の経費増を価格に反映できない期間が長く続いていましたが、他の食材等が値上がりした関係もあって消費量が伸び、在庫不足などから米の価格が高騰しました。農家経営面では生産費を反映した採算の合う価格という観点から適正価格と考えますが、消費者からは高騰した価格です。この情勢が今後も続くと思定される中、投機的な価格とならないよう注視していきます。女性部の皆さんの感性をお借りしながら、日本の食文化の「核」であるお米を食べてもらえるよう、大切にもらえる活動をしていきたいと考えています。

女性部部長 あけましておめでとございます。今日は皆さんに3つの「ありがとう」をお話したいと思います。このように大勢の部員の皆さんよりお集まりいただいたこと、事前アンケートに数多くのご意見をいただいたこと、またこのような組合長との意見交換の場を設けていただいたこと、ありがとうございます。

組合長 あけましておめでとございます。本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。どうぞよろしく願います。

組合長 女性部活動はとも活発で、さまざまな行事を行っているところを拝見しています。意見交換に先立ち、女性部活動を通して感じていることなどをお話しいただければと思います。

女性部の活動について

組合長 「苦にならない」「自分のことを認めてもらえる、自ら参加」という3つが大きな要素であると考えています。そこで、まずは「小グループでやりたいことをやる」、次に「楽しかったからみんなでやる」という手法はどうでしょうか。「今までの流れをそのまま引き継ぐ」というのはこれからの人たちが望んでいるものとは少し違うのではないかと感じます。

部員① 昨年からは始まった「笹巻づくり」は伝統的な食べ物であるため、ハードルが高いことと聞いていました。部員の方から「やってみよう」との声があつたことで始めたものですが、みんなでトライするところができたことで形になる活動となり、「すごいことだなあ。」と実感しました。

部員② 班長をしてみても、人を集めることの大変さを感じています。家庭の事情等で参加できない方も多く、楽しさを伝えきれず参加者が集められないことが残念。また、部員の年齢も上がっている現状です。

部員③ 都合が合わない時も多いのですが、笹巻づくりなど今後も参加したいと思っています。今年は災害が多い年で、どこで災害が起こるかかわからないと感じました。

部員④ 女性部の一員として部長や役員の方から面倒をみてもらって活動に参加しています。行事ももちろん良いですが、茶話会も楽しみたいです。

いのでぜひ開催してほしいと思います。

部員⑤ 集落内の部員がだいぶ減っています。人と話すこういった楽しい会は貴重。ヨガなど体を動かすのはとても楽しいし、茶話会もぜひ開催してほしいと思います。

部員⑥ しゃんしゃんの体験会などを開催してもらい、参加するきっかけづくりをぜひしてほしいと思います。

部員⑦ しゃんしゃんは体を動かすだけでなく、そのあとの茶話会がとても楽しくて続けたいと思います。



「オニヤンマのお守り」手芸教室

部員⑧ 個人的にはなかなか夜間の行事は参加できませんが、大正琴、ヨガ、オニヤンマのお守りづくりは楽しかったです。

部員⑥ 料理の会で作りながら話し、「おいしかった」という声に嬉しさを感じ、またその後の茶話会が楽しかった経験から、きっかけづくりが大切という意見に賛成です。

今後の活動への提案

組合長 各組織は、新規部員勧誘に悩んでいる現状かと思いますが、その解消のつ案として、農協が主体となるセミナーの開催はどうでしょうか。鮮魚部門職員が魚の捌き方セミナーの講師を行い、組合員・地域の方々に広く参加者を募る方法。そこに女性部も参加し、勧誘するきっかけづくりに。または健康志向の情勢の中、ヨガ、ウォーキング、その後お弁当を食べる会の開催など、さまざまな世代の参加者を募るイベントによって、さまざまながり・結びつきを期待します。私個人の意見だけでなく、今うなずいてくれた皆さん

部員③ 土の子グループのサツマイモは、収穫感謝セールで販売まででき、とても良かったと思います。ただそこまでたどり着くのが大変で、まず趣味程度の園芸なりの

部員② それはそれで良いとは思いますが、では女性部である意味は何かと考えます。周りに農協の情報を伝えるとか…。

部員① 実際料理を小グループで計画しているもの、計画倒れになることが多い現状。人を集めるのは役員の負担が多いのではないのでしょうか。

部員⑤ いろいろな集まりでの声掛けやきっかけづくりが大切ということに同感です。飲食もある集まりでつながりをつくり、そこで意見も出て

部員④ 「出席して良かった」というきっかけづくりとしては少人数グループが良いと思います。

女性部部長 他JAでの例としては、小グループで良かったものを大グループで行う、というのは実際やっていることですので、それも良いと思います。



女性部部長 今井ちよ子さん(南口)

小グループがあり、そこから大きい活動に向かうのも良いと思います。小グループがたくさんあってもいいのではないのでしょうか。

のも体にとっても大切。」というお話。楽しさは大事で、苦にならたら続かない、と感じました。時間の制約、会場の制約で極端な利用者拡大は難しいですが、しゃんしゃんの活動を紙チラシでお知らせできれば、宣伝になるかな、利用してもらえるかな、と思っています。

今後の活動に向けて

組合長 好きなことも選べ、多様化している中、みんなが集まってみんなで何かをするというところは難しい時代になつていと感じます。女性部活動でも、そういった苦勞もあるのかな、と感じます。今後この情勢が続く想定の中で、提案があります。「会」というのは「参加して楽し



佐藤一彦 組合長



笹巻づくり講習会

組合長 しゃんしゃんの利用者との会話で「ごさ来て楽しいのはなんと」言つても会話。体操なりで体を動かす

女性部部長 人を集めることが難しい中、毎回10人以上集まっていたら、ありがたいです。一人ではできないことでも、みんなから手伝ってもらうことが私の宝物となっています。



土の子グループのサツマイモと干し芋「いもこちゃん」



女性部土の子グループが育てたサツマイモ「紅はるか」収穫感謝セールにて店頭販売しました。「いもこちゃん」は、クラッセ内共同利用加工場で加工し、生活館産直コーナーで販売中です。

組合長 案はやっぱり話し合い・茶話会の中にあるものがある種になると思います。女性部の理念を持ちつつも、柔軟な考えでいいと思います。さまざまな活動を通して、参加いただいた方に女性部員に加入してもらいたいのではないのでしょうか。

部員② 農家世帯の女性だけでなく、管内の女性にぜひ加入してもらえると嬉しいと思います。

部員③ 女性が多く参加してくれるイベントがあれば、横のつながりが広がると思います。

部員④ そういった活動を通して農協を知ってもらう、使ってもらえるきっかけになればと思います。生活館や各事業、農家だけに限定したものでないということを知ってほしいです。

組合長 ぜひそうやってほしい。農協を知ってもらいたい、



女性部役員 足達悦さん(下朝丸)

利用してもらいたいという思いが伝わればとても嬉しいです。

スモールステップでチャレンジを

組合長 今後の活動としては、柔軟な、今の時代に合った方向性を持ち、少しずつ変えていかなければならないもの、と考えています。小さい種をまきながら時間をかけて育て、経過を見ていくことが大きな取り組みとなるのではないのでしょうか。また、前例に従った判断だけではなく、いろいろな小さい種をまき続け、スモールステップでダメならすぐ引き返すということをやるべきと考えます。やってみて、検証しながら変えていく、年を重ねながら新しいものにチャレンジしていくことは

今後もっと必要なのではないかと思えます。そういった点から、女性の活躍を期待したい。

令和5年にフラワーオブザイヤートTAを管内の女性が受賞したように、女性ならではの感性・知恵・根気などによる活躍を今後期待したいと思えます。

また同じく令和5年度には、北海道で行われた女性組織活動体験発表会において、JAあまらめ女性部は山形県代表として発表されました。その際「女性部は農協の応援団」という今井女性部長の言葉がありました。正に農協としてはこれを望んでいます。「応援団」という言葉には、応援のみならず叱咤激励も含まれていると考えています。

農協は農家を支えるということに主題を置きつつ、地域の人たちと共に歩む、食に限らず暮らしについても大きな役割を果たすべきと考えており、女性部の活動を通して時代とともに変化する役割を果たしていきたいと思えます。



女性部と組合長の意見交換会のようす



米づくり体験 手押し除草機作業のようす

組合長 授業では田植え、

部員① 町内では学校田での米づくり体験を行っているのではないですか。

んのような人が集まれば、小グループ規模での開催から声かけのきっかけとなり、輪が広がっていくのではないかと。もう一点。当農協で永く続いている生協共立社との米づくり体験。これは生協の組合員の方が参加しており、なかなか町内・管内の参加者が少ない状況です。管内の参加者を募ることで、また違った輪が広がっていくのではないかと考えています。

部員② 他市でのイベントで、講師が材料について説明しながら、子供がつくり親がハラハラしながら見ていて、できた弁当を親子で食べるというイベントもあり、すごく良いと思えました。親子参加者をどれだけ集められるか。それがキーになると思います。

部員③ 女性部の現状もいろいろありますが、

組合長 農協が主体となっていくことで、各組織の活性化のきっかけづくりになれば。意見にあったとおり、親子での米づくり体験を通して、「やっぱり余日のお米はおいしいんだ」とかそんな効果が出るんじゃないかと考えています。

部員① 生協の米づくり体験でいいな、と思っているのは、親子で一緒になって体験していることです。

組合長 稲刈りの主要作業だけの体験となつているのが現状で、米づくり体験では手押し除草機・生き物調査も行っており、途中の管理も知ってもらうのが理想的です。

いろいろありますが、女性部だけの解決ではなく農協主体事業との連携による活動という柔軟な考え方は良いと思います。

組合長 約1000名の組合員のうち、耕作農家はおよそ170名の現状。農協の事業は耕作農家のみでなく、全組合員、地域の皆さんに向けたアプローチと考えれば、大人数で集まらなくても小グループの集まりでも良いのではないのでしょうか。それに賛同する参加者が継続している活動にしたらどうでしょうか。興味づくりのきっかけは、やはり女性部や農協が企画していければと思います。

部員① イベントの案やきっかけづくりはどうすればいい



女性部役員 小野寺姫さん(館)

令和6年度 女性部活動の内容

年月日	活動名
5月29日	笹巻づくり講習会
6月24日	ヨガ教室
7月23日	手芸教室「オニヤンマのお守り」
8・9月	フードライブ活動
8月22日	ヨガ教室
10月10日	フードライブ寄贈
10月15日	防災講習会
11月19日	農協との意見交換会
12月2日	葬儀マナー講習会
2月上旬予定	ヨガ教室・食事会

グループ活動	
年月日	活動名
毎月第1・第3木曜	大正琴グループ 定期練習会
10月6日	土の子グループ 芋掘り
10月20日	収穫感謝セールにてサツマイモ販売
11月～	土の子グループ 干し芋「いもこちゃん」加工
12月	畑作グループ おこし作り
//	料理グループ 正月料理・ケーキ
1月	料理グループ 行事料理
2月	畑作グループ くじらもち作り



防災講習会 災害に備えを



ヨガ教室 年3回の実施



フードライブ活動で社会福祉協議会に寄贈



実際に使用したおもしろいPOPを持参いただきました。



とても興味深い内容に参加者は興味津々

興味を持ってもらえるPOPづくりを学ぶ 産直の会研修会

11月13日、生活センターホールにて、産直の会研修会を開催しました。講師として秋田県大仙市にあるJA秋田おばこの農産物直売所「しゅしゅえつとまるしえ」店長の藤田学氏をお招きし、「思わず立ち止まる、買いたくなるPOPづくりのコツ」をテーマに12名が受講しました。同氏は各メディア・新聞で取り上げられた『ほだっこ飯』の発案者で、お客様から楽しんでもらい、繰り返し利用してもらえるお店づくりを心がけているとのことでした。

地産の新鮮な農産物を手に取ってもらうため、興味を持ってもらうためには「POPも大切な要因。パッと目をひくデザインと、オリジナリティが大切」と教わりました。

令和6年度の総括と令和7年度に向けて 営農座談会全体会を開催



令和6年度産米の総括、令和7年度産米に向けた考え方を説明し、ご質問・ご意見をいただきました。

11月29日、生活センターホールにおいて、営農座談会全体会を開催し、70名の皆さんにご参加いただきました。出された意見の一部をご紹介します。

Q. NOSAIの収入保険について、米値段が上がり、収量が減ったという結果。保険金による補てんは見込めるか。水稲共済の場合はどうか。

A. 収入保険は個別に本年分の確定申告の収入を確認してからの保険金支払い判定となります。水稲共済は、個別に水稲の減収または品質低下に関し、共済金の支払を判定します。収量を確認してからの判断となります。(NOSAI)

Q. 面積拡大に伴い、水田除草剤の期を逸し雑草繁茂圃場が増えているのではないかと。そういった圃場への指導の考えを聞きたい。

A. 雑草繁茂地の方については、カントリー利用組合と一緒に対応してきました。課題のある方には個別に対応して次年度に向かいます。(JA)

Q. 特裁米圃場における除草剤使用は、支援センターが示したものが。

A. 水田外農道や排水法面や畦畔)についての除草剤の使用を確認するもので、支援センターの示すものではありません。面積拡大の情勢による要望を考慮し、申し合わせ事項を見直したものです。(JA)

地場産物を使ったお楽しみ給食会

12月12日、庄内町教育委員会の取組「地場産物を利用したお楽しみ給食」庄内町めぐみ給食・生産者に感謝を込めて「が」が開催され、当農協から庄内町産のつや姫と豚肉を提供しました。

給食会には阿部信用共済部長と土屋営農販売部長が参加し、園児・生徒の皆さんの元気に圧倒されながらも、一緒に楽しい時間を過ごしました。

おいしい食べ物をたくさん食べて、元気に大きくなってほしいと願います。



余目第三幼稚園にて

12/12 庄内町お楽しみ給食会
地産のつや姫と豚肉どうですか？



農業のために 地域のために 明日のために
**JA共済の
地域貢献活動**



余目第一小学校にて

第18回 あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテストin庄内町

最優秀金賞の結果

- 高校生部門
福島県 福島県立修明高等学校 (コシヒカリ)
- メジャー部門
北海道 岩井 敬樹さん (ゆめぴりか)
- ネクスト部門
茨城県 獅子米生産組合 岡田ファーム 岡田 弘さん (ゆうだい21)
- プレミアム部門
岐阜県 銀の胎生産組合 鎌倉 誠也さん (いのちの舌)



11/29 庄内町余目第四まちづくりセンターで開催
(庄内町・米コンテスト実行委員会主催)
森屋家当主 森屋要二さんも決勝審査員を担いました。

第36回 森屋翁顕彰祭～森屋多郎左工門翁の功績を称える～



顕彰碑前の祭壇に榊を奉納する森屋前組合長

11月25日、廿六木集落顕彰碑前において、森屋家当主森屋要二氏、庄内町長、農業関係者および集落関係者ら24名の出席で森屋翁顕彰祭の祈禱が執り行われました。

庄内町廿六木地区の森屋多郎左工門翁が、当時農家を悩ませた「冷害」に強い品種を発見・改良し、「つや姫」「ササニシキ」等の祖先である品種「森多早生」を創選した功績を称え開催されています。顕彰碑が平成元年11月25日に建立されてから、36回目の祭典となります。

森屋家当主である森屋要二前組合長は、「祖父は若くから生涯をかけてとても研究熱心だった。品種改良の功績を今後どのように後世に引き継いでいくかが課題。森多早生が地域貢献につながることを願います。」と話されました。

理事会だより

《附議事項》

- (1) 11月末事業状況について
- (2) 2024上半期ディスクロージャー誌の開示(案)について
- (3) 正組合員の加入資格(案)について
- (4) 准組合員の加入資格(案)について
- (5) 大口貸付の承認について(案)
- (6) 職制規程の一部変更(案)について

《協議事項》

- (1) 販売業務規程の一部変更について
- (2) 保管業務規程の一部変更について

《報告事項》

- (1) 組合員の加入脱退について
- (2) 各種委員会(農業委員会・庄内町等)の報告事項について
- (3) 介護予防事業報告書について
- (4) 令和7年 新年互礼会について
- (5) 組織会計事務取扱要領の一部変更について
- (6) 年末年始の業務対応について
- (7) 資産査定結果(仮基準日)について
- (8) 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針の一部変更について

●11月末の実績●

	実績	計画比	前年比	
正組合員	920名		98%	
販取扱品高	農産物	533,314千円	88.1%	89%
	畜産物	230,531千円	92.6%	92%
	計	763,845千円	89.4%	90%
購取扱品高	農産	250,645千円	114.6%	107%
	畜産	38,060千円	92.7%	83%
	店舗	526,551千円	107.4%	103%
	農機自然	416,680千円	136.9%	125%
	計	1,231,936千円	116.8%	110%
加工事業	280,897千円	107.7%	115%	
貯金高	12,140,093千円	102.2%	102%	
貸出金	2,601,230千円	98.3%	95%	
長期共済(保障)	1,361,570千円	68.1%	65%	

JAカード

新規ご契約のオススメ

※JAカードはクレジットカードです

①商品券1,000円分進呈!!

JAあまめ生活館にてご利用いただけます

②JA-SSでの給油で2円/ℓ割引!!

カードご利用額ご請求時の割引、ハイオク・レギュラー・軽油が割引対象

③貯まったポイントでお好きな商品に交換!

加盟店でのご利用で2%多く貯まる!!

JAあまめ生活館、資材館、農機自然部は対象店舗です



キャンペーン期間: 2025年3月31日まで

詳しくは JAあまめ 信用共済部 信用係 ☎45-1501へ

入ってますか? 老後の保障

JA共済から

「予定利率変動型年金共済」で

- 生命保険料控除を利用して賢く節税
- 先行き不透明な時代、着実に貯める!
- 貯蓄しながら家族に安心の保障を

ご加入も 共済金請求も

当JA担当者がお手続きをサポート!!

保障点検承ります

予定利率変動型年金共済
ライフロード

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。



JA共済

お問合せは JAあまめ共済係 (45-1502)へ 登録番号 24066190145

賢く相続税対策! 万一の保障

JA共済から「一時払終身共済」で

- 相続税対策をしながら万一を保障
- ご契約時のお支払い率をお約束します

ご加入も 共済金請求も

当JA担当者がお手続きをサポート!!

保障点検承ります

一時払終身共済(平28.10)

この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては、「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。



JA共済

お問合せは JAあまめ共済係 (45-1502)へ 登録番号 24066190143

木曜しゃんしゃん塾 ～健康講話～



新聞紙を折って防災スリッパを作りました。

完成した防災スリッパ

新聞紙を重ねて作れば安心して歩けます。

12月5日、掘り所しゃんしゃんにおいて、庄内町元気アップ講座の一環として、健康講話を開催しました。今回は庄内警察署より講師をお招きして、交通安全をテーマとした講話と災害時の新聞紙スリッパの作り方を教えていただきました。



特に歩行中の事故が重傷化しやすい! 思いやりを。自動車も、自転車も、歩行者も

『災害に備える』～新聞紙で防災スリッパをつくる～

表裏がわかりやすいよう、折り紙を使用して作ってみました。皆さんもぜひ作ってみてください。

- 1 新聞紙を二つ折りし折り目をつける。
- 2 下から折り目までを折る。
- 3 下から折り目に沿ってさらに折る。
- 4 裏返す。上が折り目になるように。
- 5 およそ3分の1になるよう右側から折る。
- 6 左側からも折る。
- 7 左側から折り込む。
- 8 左側から折り込んだ袋の部分を三角に折り込む。
- 9 裏返して、完成。
- 10 隙間から足を入れます。2個つくって、履いてみてください。思った以上に温かさを感じます。

災害が多かった令和6年。令和7年は、安心して過ごせる良い一年になりますように。

焼き餅 vs レンチン餅

皆さんはどのようにお餅を食べていますか?

アンケートプレゼント企画!!

募集期間：令和6年12月25日～令和7年1月15日

広報ほのか投稿用紙より投票していただいた方から抽選で10名様に生活館商品券をプレゼント!

こんがりパリッと
王道 焼き餅

VS

手軽に簡単
あなたばどっち派!?

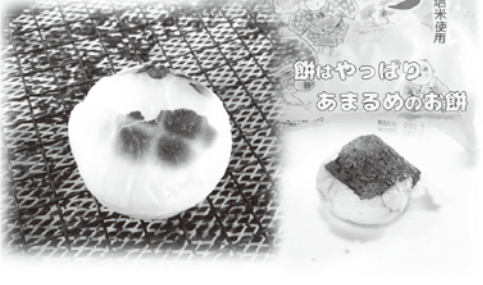
ふわっとやわらか
レンチン餅

お餅はやっぱり
JAあまらめでわのもち

食べ方や選んだ理由などを記入していただくと当選しやすいかも!

ご記入いただいたご意見は広報ほのか2月号・SNSなどで特集させていただきます。

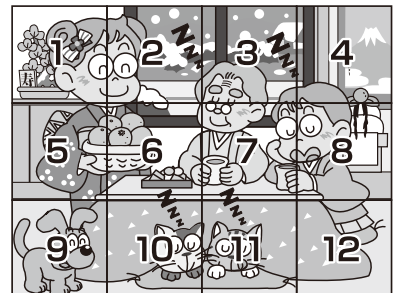
- あまらめ産「特別栽培米でわのもち」100%使用
- しっかりとした嚼め感
 - おいしさを際立たせる粘り
 - 個包装はつきたて長持ち
 - 米量から持つ
 - 添加物一切不使用



まちがいがし

12月号当選者・正解

- 河村 奏佑さん(興野) 抽選の結果10名の方が当選されました。
和嶋まり子さん(廿六木) 応募総数は100名です。
森屋 恵さん(廿六木)
日下部きよ子さん(横島)
日下部徳子さん(横島)
渡会 一弘さん(千河原)
渡部 鈴子さん(余目新田)
石川とめ子さん(中堀野)
石川 礼子さん(中堀野)
渡辺 香苗さん(猿田)



- 答え
- 1…… 髪飾りが違う
 - 4…… かけ軸が違う
 - 6…… お菓子が少ない
 - 11…… 猫の舌が出ている
 - 12…… お年玉袋がない

●餅アンケートに答えて商品ゲットしよう!
応募締切は令和7年1月15日まで
応募箱は生活館入口脇に設置しています。

身近な話題や「ほのか」の感想をお寄せいただきました。



- 【青大豆のきな粉について】
- ◎給食で青きな粉を使ったメニューを食べました!(5歳男性)
 - ◎餅と一緒に田舎育ちの都会の人達に送ると色もいいし、おいしいと喜ばれます。(73歳女性)
 - ◎遠方に住む娘が青きな粉が大好きで、時々送っています。(68歳女性)

○産地に住んでいると気づきにくいことですが、『青きな粉』はどうやら珍しいもののようです。ぜひ大勢の皆さんにオススメしたい食材です。目で、鼻で、口で、楽しみながら食事すると、なおさら健康にもいいかもしれませんね。

◎毎日忙しく生活しているので、マーケットの焼き魚や総菜がとておいしく、弁当にも助かっています。(40歳女性)

○従来の総菜に加えて、焼き魚コーナーは昨年度より設けております。鮮魚担当が目利きして仕入れた魚を、店内調理で販売しており、ぜひ皆さんにご利用いただきたいと思っています。いろいろなお魚がありますので、食べてみてください。

皆様からのご意見ご要望
お待ちしております。

木曜しゃんしゃん塾より ~今日の一品いかがですか~

フライパンで簡単! 餅ピザの作り方

- 【材料(一枚分)】
- 切り餅 4枚
 - ピザソース 適量
 - オリーブオイル 大さじ1
 - とろけるチーズ お好みの量
- 【具材】
- 玉ねぎ 適量
 - ピーマン 1個
 - ウィンナー 3個
 - プチトマト 5個
- ピザに乗せる具材は、お好きな物でOK。



- 【作り方】
- 切り餅は、厚みを半分カットします。
※カットすると火の通りが早くなります。カットしなくてもOK。
 - ピーマンとタマネギは千切りにし、ウィンナーは斜めにスライス。プチトマトはヘタを取り、半分カットします。
 - 焦げ付きにくいフライパンに、うすら油を敷き、お餅を並べます。※軽くレンジでチンをすると、早く火が通ります。
 - 大さじ1の水を入れて蓋をして、弱火でじっくり焼きます。
 - お餅がぷっくりと膨らんできて、火が通ったら、チーズ→具材→ピザソースとチーズをかけて、更に蓋をして弱火で3~5分程度焼いて、完成! **温かいうちにお召し上がりください。**

1月の木曜しゃんしゃん塾は 1月9日、23日です。お申込みは企画管理部 45-1500へ

よい食とは、
おいしい食のこと。
楽しい食であること。
家族の健康を支えるもの。
よい暮らしそのもの。

和食は日本が誇る食文化。
農業体験で、食への関心を高めよう。
日本型食生活を、バランスよく。

新鮮な地元産をもっと食べよう。
ダイエツト、間食は果物で。
規則正しい食生活。

一日3食で、

日本を、もっと食べよう。

JAグループが取り組む「みんなのよい食プロジェクト」は、心と体を支える食の大切さ、国産・地元産畜産物の豊かさ、それを生み出す農業の価値を伝え、国産・地元産畜産物と日本農業のファンになっていただくという運動です。この運動のシンボル・キャラクターは「笑味(えみ)ちゃん」。笑味ちゃんは、7歳の小学2年生。いつも明るく元気、食べることが大好き、みなさん、よろしくね。

大地がくれる絆を、もっと。 JAグループ よい食 検索 みんなのよい食プロジェクト